

## 資料4：職員提案の採用事例

所管部	テーマ	内 容	実施状況および関連事項等	
総務部	職員住宅	民間と比べて割安だと思うが、適正負担を職員はしているのか。値上げしてもよいのでは。	実施	H20改定。
	職員住宅の廃止	住居手当で十分に対応できるので、すぐに廃止すべき。	一部実施	職員住宅のうち、公団借上職員住宅は独身寮も含めH19から廃止。
	自家用自動車の借り上げ	公用車台数の不足に対応するため、自家用自動車の借り上げ制度を設ける。(借り上げはバス料金並み、保険程度は市負担、公務災害適用など。)	実施	借上制度を創設し公用車を削減する。
	出先機関における職員駐車料金の徴収	本庁舎に自家用車で通勤している職員は、駐車料金として毎月1,000円を福利厚生会に支払いしているが、支所、出張所及び公の施設に勤務している職員からも徴収することにより、職員間における不公平感を解消するとともに収入の増加を図る。	実施	出先機関のほか教職員も対象に加え、H19から実施。
	支所職員の健康診断	厚田・浜益支所においては、30歳未満と人間ドックが当たっていない職員の健康診断は、それぞれの地区にある医療機関で実施すべき。両方の医療機関も石狩医師会に加入しているし、それぞれの医療機関の収入増にもなる。浜益は国保診療所で市の国保会計の収入になる。なにより、職員も都合がいい。(仕事の時間を裂いてバスで移動は時間のロス。バス使用料もかかる。)	実施	拠出金や繰出金の削減対策として、厚田クリニック及び浜益診療所の有効活用を図る。
	各種審議会の報酬見直し	各種審議会のあり方の検討と報酬の見直しを行う。	実施	H19から実施。
	被服貸与の廃止	被服については自前の物でも良いなどとし、一切支給しないことにできないか。もしくは、応分負担(実費相当)を求めても良いのではないか。(例えば貸与時に保証金10,000円等を徴収し被服貸与の財源にする、1年未満の一定期間でくれば返還する等。)	一部実施	貸与の範囲、品目、貸与年数について見直しする。
職員による庁舎清掃	職員が勤務時間外に無報酬で事務室やトイレ等の清掃を行う。職員による庁舎清掃は、「見える改革」という点では職員自身はもとより、市民に対してもその効果は大きいと思われる。しかし、そのためには管理職もローテーションに入ることが必要である。	一部実施	庁舎の清掃において、回数を減らすとともに執務スペースの自前清掃を行う。9,400千円の削減。	
企画財政部	広告料収入	積極的な広告料収入を図る。 ・北コミ・南コミ、サン・ビレッジなど多くの市民が利用する施設に企業の広告板を設置する。 ・公用車・市有バスに広告を入れる。	実施	庁舎カウンター、B&G海洋センターアリーナ、サン・ビレッジギャラリー支柱・柵。
	HPバナー広告	市HPのトップページ右端などにバナー広告枠をつくり、企業広告を募集する。年に2回程度の募集(掲載期間:半年)、7~8枠程度。	実施	最大10枠。
	新聞への広告掲載とりやめ	新聞や雑誌に掲載している「石狩市」や「石狩市議会」等の広告はほとんど意味がない。付き合いなら止めるべき。	一部実施	
市民部	ネットオークションによる滞納整理	滞納整理による差し押さえを一層推進し、物品など売却可能なものについては、ネットオークションに出品することにより、売却代金を得る。	実施	
生活環境部	街路灯	町内会の負担率をあげられないか。	実施	H19に市の負担率を60%に統一。その後、H20に55%、H21に50%とする
各部	施設	全施設の状況を比較できるチェックシートのようなものを作成し、用途変更や統廃合、施設の廃止に向けた検討を行う	実施	行革プロジェクトチーム(施設班)で検討を行い、報告書を取りまとめた。